

Free-100Mによる浮遊ウイルス除去性能評価試験の結果報告

試験回数	浮遊ウイルス数 (PFU/25L/air)		除去率
	試験品通過前(A)	試験品通過後(B)	
1回目	8,400,000	1,400	99.98%
2回目	3,300,000	370	99.98%
3回目	39,000,000	4,200	99.98%
4回目	40,000,000	1,900	99.99%
5回目	77,000,000	6,500	99.99%

目的：「Free-100 M」と同性能の吸引装置「Free-100 Plus」に試験ウイルスを含む空気を通過させ、試験ウイルスがどの程度除去されるかを評価した。

方法： 25m³試験チャンバー内に試験品を設置して稼働させ、吸気側から試験ウイルスをネプライザーで噴霧し、試験品通過前の浮遊ウイルスの捕集を開始した。1分経過後に試験品通過前浮遊ウイルス(A)の捕集を止め、試験品通過後の浮遊ウイルス(B)の捕集を開始し、毎分25Lで1分間(=25L)吸引し、浮遊ウイルスを捕集した。浮遊ウイルスの捕集にはメンブランフィルター(MF)を用いた。このMF上の試験ウイルスを洗い出し36±2℃で19~22時間培養後に発生したプラークを数え、空気25Lあたりの浮遊ウイルス数を求めた。

期間： 2020年6月17日~2020年6月19日

機関：一般財団法人北里環境科学センター